

# 渡島・檜山支庁の気象

平成22年冬（12月～2月）のまとめ（2010年）

函館海洋気象台

平成22年3月31日

## ◎ 平成22年冬（12～2月）の天候 — 「並温・並雨（少雪）・並照」

### 【気温】

3か月の平均気温は-3.4～0.4℃で、平年差は-0.1～+0.5℃となり、函館市川汲・函館市美原で平年より高く、そのほかの観測点では平年並だった。

### 【降水量】

3か月の降水量合計は72.0～481.5mmで、平年比は52～113%となり、せたな町瀬棚・今金・上ノ国町石崎では平年よりかなり少なく、八雲町八雲・松前・八雲町熊石・厚沢部町鶉では平年より少なく、函館市川汲・函館市美原では平年より多く、そのほかの観測点では平年並だった。

### 【日照時間】

3か月の日照時間合計は106.2～269.5時間で、平年比82～103%となり、函館市美原では平年よりかなり少なく、八雲町八雲・函館市川汲・北斗・江差では平年より少なく、そのほかの観測点では平年並だった。

## ◎ 月ごとの概況

### 【12月】「並温・並雨（多雪）・多照」

この期間の天気は周期的に変わり、晴れた日もあったが、中旬の中頃から下旬の前半にかけて強い寒気が入り雪の日が多く、下旬の後半は発達した低気圧が次々と通過したため大荒れの天気の日もあった。

月平均気温は一部を除いて平年並、月降水量は渡島地方では平年並～平年より多く、檜山地方では平年並～平年より少なく、月間日照時間は一部を除いて平年並～平年より多かった。

### 【1月】「高温・少雨（少雪）・寡照」

この期間、上旬は発達した低気圧や寒気の影響により、中旬は一時的に強い寒気が入って冬型の気圧配置が強まり、荒れた天気となった日があった。下旬は冬型の気圧配置が長続きせず、低気圧や気圧の谷の影響により、雪が降る日が多かった。

月平均気温は平年より高く、月降水量は平年並～平年より少なく、月間日照時間は平年並～平年より少なかった。

### 【2月】「低温・並雨（少雪）・並照」

上旬から中旬は冬型の気圧配置になることが多く、檜山地方では曇や雪で、渡島地方では晴れる日が多かった。下旬は天気が周期的に変わり、低気圧や気圧の谷の影響で南から暖気が流入することが多く気温は高めに経過した。

月平均気温は平年並～平年より低く、月降水量は一部を除き平年並～平年より少なく、月間日照時間は一部を除き平年並～平年より少なかった。

注：数値に、]や) が付く場合は、統計した期間に欠測が含まれていることを示す。

◎ 気象官署（函館）、特別地域気象観測所（江差）における  
平成22年冬（12～2月）の各種資料

○ 気候表

	気温		降水量		日照時間	
	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	月合計 (mm)	平年比 (%)	月合計 (h)	平年比 (%)
函館	-1.4	+0.5 (高い)	237.5	113 (多い)	258.5	82 (かなり少ない)
江差	0.2	+0.3 (平年並)	262.5	106 (平年並)	116.3	89 (少ない)

(注) 表中平年比(差)の括弧付の値は階級を示す。

○ 極値・順位更新表（統計開始以来3位までの記録）

月	要素名	順位	地点名	観測値	これまでの極値	統計開始年
12月	12月における 日最小相対湿度	2	函館	32% (10日)	32% (2010年12月9日)	1950年
	12月における 日最小相対湿度	3	函館	32% (9日)	32% (2002年12月1日)	1950年
1月	1月における 降雪の深さ月合計	1	函館	156cm (1月)	156cm (1998年1月)	1953年
2月	2月における 日最高気温の高い方から	1	函館	13.6℃ (25日)	11.1℃ (1992年2月29日)	1873年
	2月における 日最高気温の高い方から	2	函館	13.0℃ (26日)	11.1℃ (1992年2月29日)	1873年
	2月における 日最大1時間降水量	3	江差	7.5mm (26日)	7.0mm (2004年2月22日)	1941年
	2月における 日最高気温の高い方から	1	江差	14.5℃ (25日)	12.2℃ (1954年2月28日)	1941年
	2月における 日最高気温の高い方から	3	江差	11.8℃ (26日)	11.3℃ (1962年2月11日)	1941年

○ 降雪量・最深積雪

	12月		1月		2月		冬合計		冬最深積雪	
	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	降雪量 (cm)	平年比 (%)	(cm)	平年比 (%)
函館	129	143	156	131	73	72	358	116	47	107
江差	72	96	90	74	82	81	244	82	21	58

## ○ 真冬日の日数

	12月		1月		2月		冬合計	
	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差	日数	平年差
函館	7	0	10	-4	13	+3	30	-1
江差	5	+1	7	-4	12	+3	24	0

※ 平年差は平年値（少数第1位）を四捨五入した整数値と日数との差

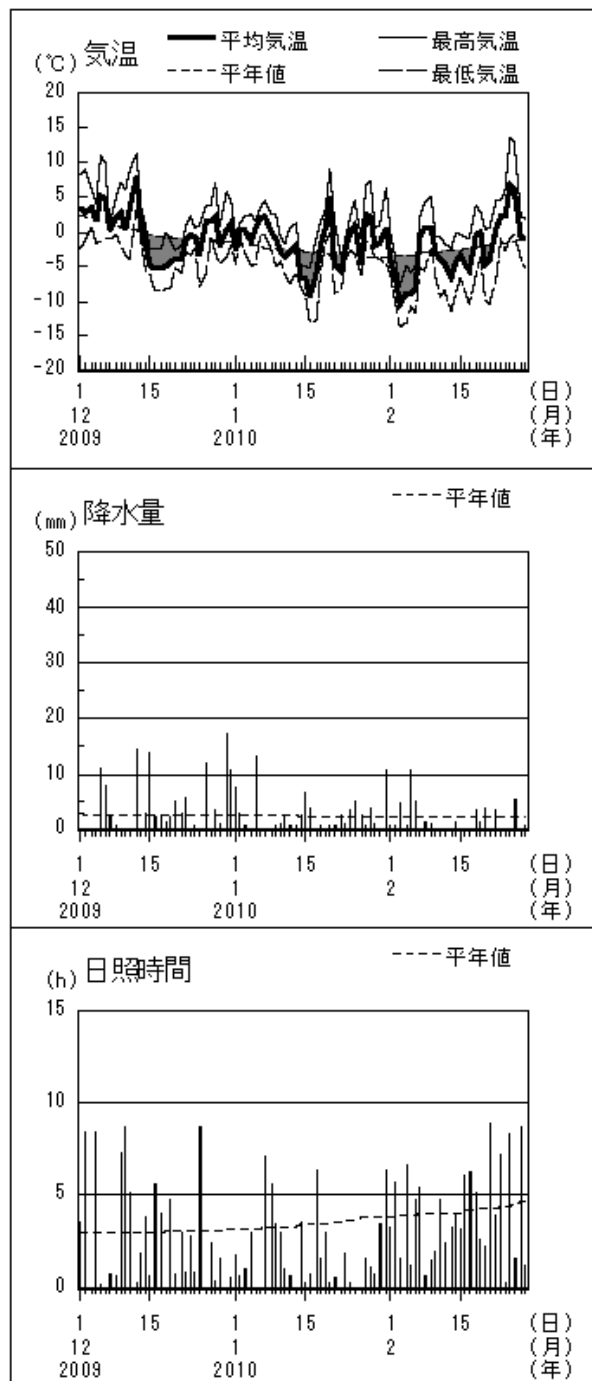
## ◎ 異常気象および気象災害発生状況

1月5日～ 1月6日 <b>【渡島地方】</b> 積雪害 雪圧害 海上波浪害 その他（風害）	<p>発達中の低気圧が北海道の南海上を進み、渡島西部や渡島東部では東よりの強風となり、湿った大雪となった。</p> <p>これにより、強風と積雪の重みで複数倒木し送電線に接触、2,264戸が約5時間停電。航空機、函館－丘珠便など13便欠航。JR函館線、除雪のため函館－森間1本運休。フェリー、函館－青森便など3便欠航などの被害が発生した。</p>
2月25日～ 2月26日 <b>【渡島地方】</b> 浸水害	<p>25日北海道は三陸沖に中心をもつ高気圧の影響で南から暖気が流入し、更に25日夜遅くから26日にかけてオホーツク海から延びる寒冷前線が通過し、まとまった雨が降った。</p> <p>これにより、26日05時頃、道道八雲厚沢部線で融雪と雨で山間の支流が増水し、道路が浸水した。このため07時00分～17時00分まで10時間通行止となった。</p>

◎ 気象経過図

地上気象：2009年12月1日-2010年2月28日

函館



江差

